

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	吉橋 幹夫	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3425		事務事業名称	社会教育振興事業					短縮コード	経常	3425	臨時	3426
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		教育基本法，社会教育法，子どもの読書活動の推進に関する法律，八千代市社会教育委員条例，八千代市補助金交付規則，八千代市視聴覚教材センター規則，人権教育及び人権啓発の推進に関する法律，八千代市家庭教育指導員設置規程，八千代市社会教育指導員に関する規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
1 事業概要 ①社会教育委員会議の開催 ②家庭教育の推進 ③視聴覚教育の推進 ④人権教育の推進 ⑤県教育委員会・各種協議会主催事業への参画 ⑥その他社会教育に関する業務 2 事務事業を開始したきっかけ 社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づき，市制施行時(昭和42年)から開始。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
①近年，国際化，高度情報化，都市化，核家族化，少子高齢化など社会構造の急激な変化が生じ，それらの変化に対応するための自発的な「生涯学習」が個々人にも求められるようになっており，この生涯学習を振興する手段の一つとして社会教育への期待が高まっている。 ②家庭教育の面では，都市化による核家族化が進み地域における地縁的なつながりも希薄になり，地域・家庭の教育力が低下している。					大項目（節）	02	第2節生涯学習						
					中 項 目	01	1. 生涯学習						
					小項目（施策）	01	(1)市民の学びの支援						
					細 項 目	01	①ニーズに対応した学習機会の提供						
				実施計画の計画事業	2027	子ども読書活動推進事業							
					2028	ブックスタート事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民（一般市民，子育て中の保護者，教育関係者）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： ①社会教育委員会議の開催 ②家庭教育の推進（講演会の開催・広報啓発等）③視聴覚教育の推進（視聴覚機材・教材の貸出し等）④県教育委員会・各種協議会主催事業への参画（社会教育振興大会・社会人権教育地区別研修会等への参加・開催協力等）⑤子ども読書活動のCATVによる広報 ⑥ブックスタート事業とその広報啓発							
	※平成25年度に計画していること： 1 上記①～④に加えて子育て支援施策を担当している部署との連携を図り，家庭教育支援施策を充実させていく。 2 子ども読書活動推進計画に基づく各事業の進捗調査 3 ブックスタート事業と一部事業に係る見直しの検討							
意図 （何を狙っているのか）	近年，都市化に伴い核家族化が進み，地域における子育て支援機能が低下している。親にとっても子育てへの負担が増え，家庭での教育力が低下している。こうした中で社会全体で子育てを支援する体制を作るとともに，親自身の家庭教育力もアップしていく必要がある。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	192,884	199,500	192,951	202,600	
	指標 2	市世帯数（3月末現在）	世帯	81,145	85,800	81,930	87,800	
	指標 3	組織化された社会教育関係団体等への参加人数	人	23,046	24,000	23,736	24,000	
活動指標	指標 1	各種講座・行事等の参加人数	人	11,533	13,000	12,546	13,000	
	指標 2	視聴覚教材・機材貸出回数	回	240	300	217	240	
	指標 3	家庭教育関係情報紙配布世帯数	世帯	19,157	20,000	11,960	20,000	
成果指標	指標 1	各種講座・事業等参加率（講座等参加人数/市人口）	%	6	6.5	6.5	6.4	
	指標 2	社会教育関係団体参加率（団体参加人数/市人口）	%	11.9	12	12.3	11.8	
	指標 3	家庭教育関係情報紙配布率（配布世帯数/市世帯数）	%	23.6	23.3	14.6	22.8	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3425	事務事業名称	社会教育振興事業				所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			①家庭教育に関するホームページなどを通じての家庭における教育の充実に資する情報の提供，各種講座の開催，発達段階に応じた講演会の開催など内容を充実させる。また施策を展開していく場を広げるため，例えば学校行事などのさまざまな場を利用し，広報活動の強化，家庭教育の浸透に努めることで普段関心を持たない親に働きかけていく。 ③ブックスタート事業の市民アンケートの結果を事業に反映させることや，他部署との連携強化に努め，子どもの読書活動を推進する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			家庭教育講演会や公民館事業への支援と共に，ブックスタート事業を実施し，子ども部等との連携も図りながら推進していく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
①子育て支援の面から児童福祉や就労，男女共同参画，教育などさまざまな面から支援する必要性が訴えられている。 ②地域の連携推進による事業の実施を求める声がある。 ③議会で子ども読書活動推進事業への質問が出され，計画やブックスタート事業への関心が高まっている。									

所属長コメント	家庭教育については公民館との連携を密にするなど様々な場を活用し、事業を進め、併せてホームページからの情報発信に努めてきた。子ども読書活動については生涯学習や家庭教育に関する講座・研修会など様々な機会を通じて、読み聞かせの大切さや読書の重要性を伝えてきた。また、こども部等と連携しブックスタート事業を実施した。今後も他部署と連携を図りながら事業を推進していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									